

<7~10月のイベント情報> (協会主催・後援、加盟団体主催・出演など)

昨年度も、今年度に入ってから、「コロナ」のために、様々なイベントが中止になりました。5月のアール・ブリュット展や6月の都民交響楽団の八丈公演も残念なことに中止になりました。

第4次のコロナ緊急事態宣言では、公共施設の利用制限が前回より緩和されていますので、以下のような行事が予定できることになりました。詳細は、協会ホームページおよび「Faxメール通信」をご参照ください。



<7月>

- 八丈小島上陸体験(八丈島自然っ子クラブ) 24日(土) 予定
- 第80回島民大学講座 24日(土)、25日(日) ともに、13:00から 商工会研修室
オンライン受講も可能

<8月>

- 八丈島 JAZZ フェスティバル 23日(月) (時刻は検討中) おじゃれホールにて
※入場者限定。オンライン配信あり。

<10月>

- あびの実公演 3日(日) 子ども招待公演「糸の森の音楽会」

町表彰事業での文化事業部門に次の団体を推薦

町の表彰事業はかなり以前から実施されてきましたが、文化分野については、2017年度まで対象になっていませんでした。2018年度から対象になりましたが、それは個人のみが対象でした。そして、2020年度から団体表彰も可能になってきています。

ということで、文化協会にたいして、2021年度の推薦の依頼がありましたので、あびの実(特定非営利活動法人八丈島あそびと文化のNPO あびの実)、(シニア)劇団かぶつ、八丈島子ども文庫連絡会の3団体を推薦しました。

○あびの実は、長らく子ども向けの演劇公演や映画会などを行い、現在の八丈島文化協会発足の原動力になりました。

○八丈島文庫連絡会も、長らく八丈島各地域の読み聞かせの会を実施し、また、文庫まつりの開催などに取り組んできました。

○劇団かぶつは、発足して15年ほどですが、八丈島などを題材に、セリフは八丈方言で、独特の雰囲気をもった劇団となっています。島内の学校や保育園、一般島民向けの公演、また、島外での公演活動で活躍しています。

八丈町が、文化活動の発展に関心を持ち、今後さらにそうした事業・活動に支援を強めて行くことに期待したいと思います

八丈島文化協会 会報 第36号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2021年7月23日

第10回紙上総会、提案通りに承認

八丈島文化協会会長 山下 和彦

<第10回総会、ご協力ありがとうございました>

八丈島文化協会第10回総会も、昨年に続き紙上総会になってしまいました。会員の44団体・個人のうち、21団体から回答が寄せられ、全5議案全てに賛同をいただきました(回答の提出がないものは、賛成と見做すという事でした)。ご協力ありがとうございました。寄せられたコメントも、質問的なものも含めて、肯定的・支援感のあるものでした。

コロナのため、仕方がないことですが、流石に気持ちが悪くなります。皆様の活動もなかなか難しい、集まらない様子が伺えます。東京都は4度目の緊急事態宣言、コロナ感染者は増え続けています。オリンピック、パラリンピックも無観客でということで、どうなることでしょう。自分は絶対にかからない(人にもうつさない)ように気をつけたいものです。

こうした中で、全国シニア演劇大会が6月17日(木)~20日(日)まで4日間東京池袋でありました。コロナで13劇団のうち3劇団はビデオでの参加でした。私たち「劇団かぶつ」も不参加でした。参加者のPCR検査から、劇場ホールは300人の定員を半分150人、1公演ごと観客の入れ替え。換気、座席の消毒。演者は観客と会えなくなりました。そして、60歳、70歳、80歳以上の方100人以上が舞台上に上がりました。関係者を入れると200人以上になると思いますが(観客までは調べていませんが)、7月4日過ぎてもコロナの感染者はありませんでした。コロナに気をつけながらも、やれることは有るんだと気づかされました。コロナに学ぶこともたくさんあると思います。

新しい年度の始まりです。コロナに負けず活動を続けていきたいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします

第80回八丈島民大学講座 大気と環境、子どもの貧困をテーマに開講

東京都立大学の教授陣による八丈島民大学講座が、下記の日程で開かれます。受講は無料で、オンラインでもご参加いただけます。コロナのため、日程等を変更しました。

○日 時：7月24日（土）・25日（日） 両日とも 午後1時～2時30分

○会 場：八丈町商工会研修室（八丈町役場内）

○参加費：無 料

○内 容：

<第1日目>「大気と関係する環境問題 —光化学オキシダント・PM2.5・オゾンホール科学—」

都市環境学部 環境応用化学科 加藤俊吾 准教授（環境化学・大気化学）

大気は簡単に移動して混ざりやすいので、地域的な大気汚染、さらには地球全体の環境問題として多くの人に影響を及ぼすことが多くあります。光化学オキシダント（光化学スモッグ）などについて解説をおこないます。対面講座とオンラインの併用で行います。

<第2日目>「日本の子どもの貧困を考える」

人文社会学部 人間社会学科 阿部 彩 教授（社会保障論・社会政策）

日本の子どもの貧困率は2018年値で13.5%。コロナ禍によって現在はさらに上昇していると考えられています。先進諸国のひとつである日本において貧困とはどのような状況を表すのか、子どもにどのような影響が出ているのか、社会科学の知見から考えます。阿部先生の自宅での講義を、会場またはオンラインで受講できます

<その他>

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、会場ではソーシャルディスタンスの確保、換気、机イスの消毒を行います。参加者には、手指の消毒とマスク着用、参加票の提出にご協力をお願いいたします。
- ② オンラインでの受講をご希望の方は、八丈島文化協会のホームページ、または八丈島文化協会事務局までご連絡ください。

○八丈島文化協会事務局（7月19日から23日の午前中）

E-mail bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

電話 2-2833

<主 催>八丈島文化協会 <共催>東京都立大学 <後 援>八丈町教育委員会

■問い合わせ■ 八丈島民大学講座運営委員会 事務局 090-8036-1826

八丈島 JAZZ フェスティバル 2021 8月23日（月）ハイブリッド開催

子どもたちによる子どもたちのためのジャズフェス「八丈島 JAZZ フェスティバル」。今年は8月23日にアマ・ステージのみをハイブリッド開催します。

昨年はコロナ禍で、子どもたちの吹奏楽や合唱の発表の機会がほとんどなくなってしまいました。今年になっても収束は見えず、都心では感染が拡大しており、そのような状況下で音楽イベントを開催するには覚悟が必要でした。リスクをとって「やらない」選択をするのは簡単ですが、収束後に可能性を見出せる大人と違い、成長過程にいる子どもたちは、柔軟な感性で多くのことを吸収できるこの年代に経験を積み重ねることが何よりも大事で、子どもたちが輝ける場所を作ることは大人の責務と考え「やる」ことを選びました。

実施にあたっては、「吹奏楽の活動及び演奏会等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（全日本吹奏楽連盟）、「合唱活動における 新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」（全日本合唱連盟）に準拠した感染症対策を徹底して行います。文化協会会員のみならず、島民のみならずには、子どもたちの活動をあたたかい目で見ていただけたらありがたいです。よろしくお願い致します。

また、当日の観客は関係者に限定する予定ですが、広く皆様にみていただくために、初の試みとしてオンライン配信を行います。詳細につきましては後日、協会ホームページにアップしますので、多くの方にご覧いただけたら嬉しいです。

（八丈島 JAZZ フェスティバルプロジェクト）

<八丈島 JAZZ フェスティバル 2021>

○日程 8月23日（月）（時刻は検討中）

ハイブリッド開催（有観客とオンライン配信の併用）

※オンライン配信の時間は後日、ホームページにてお知らせします。

○出演 大中音楽部、富士中吹奏楽部、三原中音楽部、三原小エンジョイアンサンブル、三原子どもアンサンブル、八丈ウインドオーケストラ

○後援 八丈町、八丈町教育委員会、八丈島あそびと文化のNPO あびの実



T シャツのデザインを検討中のCJPの中高校生 会議もハイブリッドで（Zoom併用）